

[優 良 賞] NINJA RATMAT 超平面メタルマウスパッド



代表取締役社長
内山 真司 氏

株式会社竹内型材研究所

〒259-1146 神奈川県伊勢原市鈴川6

TEL. 0463 (93) 7771

<https://mast-takeuchi.co.jp/>



竹内型材研究所は、ゲーム対戦競技「eスポーツ」用金属マウスパッド「NINJA RATMAT (ニンジャラットマット)」シリーズを開発した。長時間プレイしても経年変化せず、操作面の広さやマウス操作の狂いがなく俊敏な動きに応える性能を持つ。6万2000円(消費税抜き)からとマウスパッドでは高価ながら、2019年10月に発売し半年弱で約100枚を販売した。

竹内型材研究所は、金型素材などに使われる熱処理済み研磨プレート「MASTハードンプレート」を製造している。激しい摩擦に耐え、高い平面度・平行度を実現する技術をマウスパッドに応用した。高い平面度・平行を持たせるため、同プレートを焼き入れし、平面形状を修正しながら面粗度を上げていく高度な技術を持つ。

使い勝手も、光学マウスのセンサーのピントがズレないように特殊な表面加工を施し、正確に素早くマウスを動かすための研究や開発を重ねた。

滑り性や止まり性などが異なる4種類(臨・兵・闘・者)の製品を用意。臨はランダムな細かい縦横の溝を施した。兵は微細な波形状を表面に施し、点接触になる様に加工。闘は滑り性と止まり性のバランスを意識したタイプ。者は最も滑り性が高い。パッドの大きさも縦300ミリ×横400ミリメートルと一般的なパッドより面が広く俊敏で大きな動きでマウスを操作できる。

プロゲーマーなどユーザーからの評価も高く、優れた滑り性が長時間使っても劣化することがなく、年単位で使ってもウレタン製パッドのように痛まない。竹内型材研究所は「マウスパッドのF1マシン」と位置付けている。